

Full Speed

月刊SEOレポート 2016年2月版

Monthly [SEO](#) Report

Vol.70

2016年は順位変動からスタートしました。

1月10日と18日の週末に中規模クラスの変動を観測しました。
詳細はP12で解説していますが、更新が噂されているペンギン・アップデートではなく、コア・アルゴリズムの更新によるものでした。

「そもそも、アルゴリズムとは何か？」

アルゴリズムは、ユーザーが必要とする情報を精度高く提供するための手がかりを探すプログラムのことです。

アルゴリズムは内部と外部、そしてドメインやサイト環境など200を超える要素で構成されています。

ユーザーが検索クエリを入力すると、インデックスで一致するページが検索され、アルゴリズムを用いて関連性が高いサイトを抽出、関連性が高い順に検索結果に返しています。

今回の変動は、当社の分析によると「内部要因」の調整あるいは数式の変更によるものと推測しています。

このようなアルゴリズムの調整や変更は日々行われており、都度Googleが変更内容を発表するわけではありません。

アルゴリズムの解読から対策のアプローチをするやり方もありますが、そもそもアルゴリズムはブラックボックスであることから100%解読することは不可能です。

そのかわりGoogleは、スターターガイドやガイドライン、検索の仕組みなどで多くのヒントを提供してくれています。Googleの意図と仕組み、そして将来を予測して対策をすればアルゴリズムの変動を気にすることなくWEBサイトの運用に集中できます。

もっとも気にしなければいけないのは、検索エンジンではなくユーザーです。

SEOコンサルティング事業部
WEBコンサルタント 深井



04 検索エンジン最新トピック

10 全体的な順位変動の状況

13 Growth Seed VOICE

SEO Report

検索エンジン
最新トピック

Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索マーケティングに関わるお役立ち情報をご紹介します。

Google

日付	タイトル	概要	詳細
1/08	数億のモバイル ユーザーを保護するための取り組み	マルウェアや望ましくないソフトウェア、ソーシャルエンジニアリングサイトからの保護をAndroidのChromeブラウザにも拡大したことを発表。	-
		http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2016/01/protecting-hundreds-of-millions-more.html	
1/20	ウェブマスター向けウェブサイトが刷新	サイト訪問者の行動分析やユーザーアンケートにより、構成変更や「トラブルシューティング・人気リソース・イベント カレンダー」などの新機能追加を発表。	P06
		http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2016/01/new-year-new-look-introducing-our-new.html	
1/21	Android端末の天気予報画面を更新	米GoogleはAndroid端末で、天気予報や降水確率、警報・注意報などの天気関連の検索機能を強化したことを発表。	-
		http://insidesearch.blogspot.jp/2016/01/prepare-for-next-storm-with-new-weather.html	
1/21	Google広告ビジネスの年次レポートを公表	本レポートの中で、2015年広告掲出規約に違反したことを理由に7億8000万回の広告表示をブロック、2014年の5億2400万回から大幅にアップしていると発表。	-
		https://googleblog.blogspot.jp/2016/01/better-ads-report.html	
1/29	AMP導入ガイド日本語版を公開	モバイル ウェブの表示を飛躍的に向上させるプロジェクト、Accelerated Mobile Pages (AMP) の導入ガイドラインを公開。	P07
		http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2016/01/accelerated-mobile-pages.html	

Yahoo! JAPAN

日付	タイトル	概要	詳細
1/18	福岡市と包括連携協定を締結	「スタートアップ支援・デジタル人材の育成」、「市政情報等の発信」、「防災・災害対策」など5つの分野で包括連携協定を結んだことを発表。	-
		http://pr.yahoo.co.jp/release/2016/01/18a/	
1/18	ユーザーの行動背景データを公開	PC・スマートフォンにおける興味関心の違いを調査した「コンテキスト（ユーザー行動背景）」の結果を公開。	P08
		http://yahoojp-marketing.tumblr.com/post/137520320401/20160118	
1/26	米国のインタラクティブ広告業界団体に正式加盟	米国ニューヨークに本拠をおく非営利のインタラクティブ広告業界団体「The IAB Technology Laboratory」に日本企業で初めて正式会員として加盟したことを発表。	-
		http://pr.yahoo.co.jp/release/2016/01/26c/	

「ウェブマスター向けウェブサイトが刷新」

今月のトピックス01

ウェブサイトの問題を解決するのに役立つヘルプリソース、高品質サイトの作成や検索ランキングの向上に役立つSEO学習資料、そして担当チームやウェブマスター コミュニティから最新情報を知ることができる”つながる”ページ構成に刷新されました。



https://www.google.com/intl/ja_ALL/webmasters/#?modal_active=none

要チェック項目

注目すべきは、ウェブサイトの刷新に伴い、ウェブマスター向けガイドライン（品質に関するガイドライン）の一部も更新されたことです。

<https://support.google.com/webmasters/answer/35769?hl=ja>

「一般的なガイドライン」と「品質に関するガイドライン」で構成され、一般的なガイドラインの中には3つのサブセクションに分かれています。

中でも、「重要なコンテンツのデフォルト表示」「モバイル対応」「HTTPS」「アクセシビリティ」「1ページのリンクの数」「有効なHTML」などの項目で追加や文章修正が多くありますので、1回読んだことがある方も、改めて熟読することをお奨めいたします。

参照元：「ウェブマスター向け公式情報」

<http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2016/01/new-year-new-look-introducing-our-new.html>

「AMP導入ガイド日本語版を公開」

今月のトピックス02

GoogleとTwitterが協同で策定したモバイルウェブの表示を飛躍的に向上させるプロジェクト、Accelerated Mobile Pages（AMP：アンプ）の、日本語版導入ガイドが公開されました。

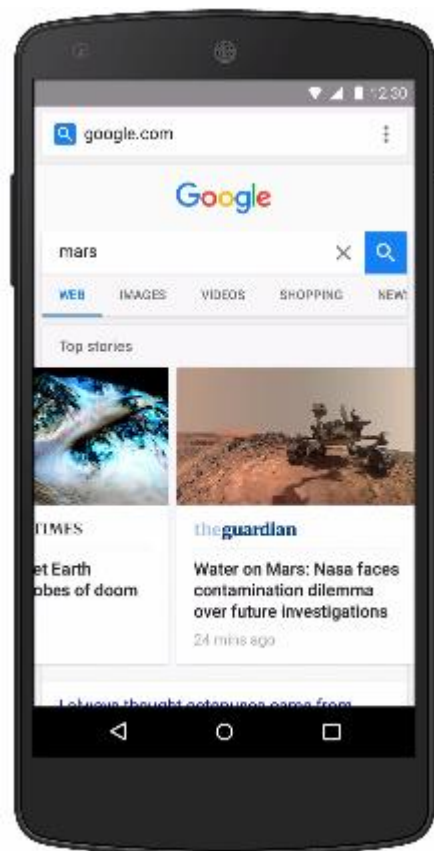
AMPとは？

本書1月号の「2016年検索エンジンの展望」でも触れましたが、今後Googleが本腰をいれて取り組む施策です。AMPで策定された仕様に従ってモバイルサイトを制作すると、モバイル検索結果からリンク先ページが、まさに“高速”で表示されます。

ページの読み込みに3秒以上かかると、40%のユーザーがそれ以上の閲覧をやめてしまうとの調査結果がでていることから、高速化は必然の流れと言えます。

Google検索では、早ければ2月にもAMP HTMLの利用を開始する予定です。

<https://drive.google.com/a/fullspeed.co.jp/file/d/0BxWUuIBQ8jznVGJ1UDlwblUxOHc/view>



AMPの今後

AMPは、Googleのサービスだけに導入されるわけではなく、New York Times や BBC をはじめとするパートナーが世界的に参加を表明しており、日本でも、朝日新聞、産経新聞、日刊スポーツ、毎日新聞、株式会社イード、マイナビニュース、BLOGOS をはじめとする多くのメディアやコンテンツ提供者がAMPへの対応を準備しています。

ただし、今のところAMPは静的なニュース系の記事向けで、ECサイトのような取り引き型のサイトにはまだまだ不向きな仕様です。今後の改善に期待しましょう。

参照元：「ウェブマスター向け公式情報」

<http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2016/01/accelerated-mobile-pages.html>

「ユーザーの行動背景データを公開」

今月のトピックス03

Yahoo! JAPANが、検索や閲覧・クリックといった行動をもとに、ユーザーがマルチデバイスを利用する際、利用デバイス（PCとスマートフォン）によって興味関心カテゴリーがどれだけ一致しているかの調査結果を公開しました。

調査の背景

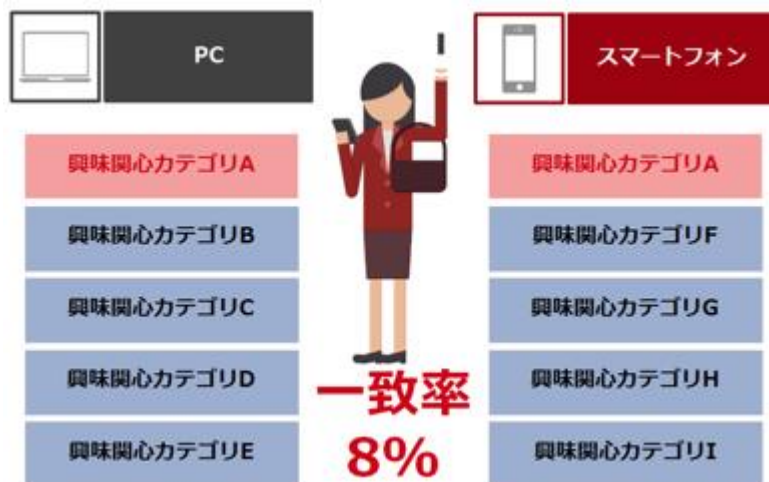
マーケティングを検討する際に重要になるのは「コンテキストを意識する」ことです。最近特に聞かれることが多いコンテキストという言葉ですが、デジタルマーケティングの世界においては、ほとんどの場合、消費者の背景や心情を理解して、それにふさわしい商品や情報を提供するマーケティングのことをいいます。

ユーザーがさまざまな時間・場所・デバイスでメディアに接触するとき、情報の認知のされ方が異なるということが明らかになっていることから、コンテキスト・マーケティングが改めて注目されています。

調査結果

約240万人のユーザーを対象に調査をした結果、PC・スマートフォン間における興味関心カテゴリーの一致率は、**約8%**に留まりました。

これは、同一人物であってもPCとスマートフォンでは、それぞれ異なる行動をとっているという事実を示しています。



マルチデバイスで訴求する marketer にとっては、「専業主婦だから」「30歳男性だから」といった平面的な切り口ではなく、訴求対象が生活していく上で状況と共に変化する価値観、その時々での利用デバイスの多様性を考慮した、より立体的な戦略が必要といえるでしょう。

参照元：「Yahoo!マーケティングソリューション ブログ」
<http://yahoojp-marketing.tumblr.com/post/137520320401/20160118>

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。



EC

イーコマースEXPO 2016 東京 第9回

2016年2月16日（火）～ 17日（水） 10:00～17:30

東京ビッグサイト 西4ホール

<http://www.ecommerceexpo-japan.com/>

マーケティング

NEW

MarkeZine Day 2016 Spring

2016年3月3日（水） 9:50～18:20

秋葉原コンベンションホール

<http://event.shoeisha.jp/mzday/20160303>

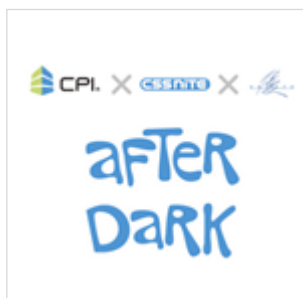
ICT

NEW

Cloud Days 2016

2016年3月10日（木）～ 11日（金） 10:00～18:00

ザ・プリンスパークタワー東京

<http://expo.nikkeibp.co.jp/cloud/2016spring/>

マーケティング

After Dark 「マーケティングリサーチを活用してWeb戦略を磨く」

2016年3月17日（木） 19:30～21:00

KDDIウェブコミュニケーションズ セミナールーム

<http://cssnite.jp/afterdark/cpi/vol32/>

マーケティング

NEW

宣伝会議 AdverTimes DAYS 2016（アドタイ・デイズ）

2016年4月12日（火）～ 13日（水）

東京国際フォーラム 展示ホール1

<http://www.sendenkaigi.com/event/days/>

SEO Report

全体的な
順位変動の状況
Section 02

順位変動状況サマリー

2016年1月の順位変動に関するサマリーコメント

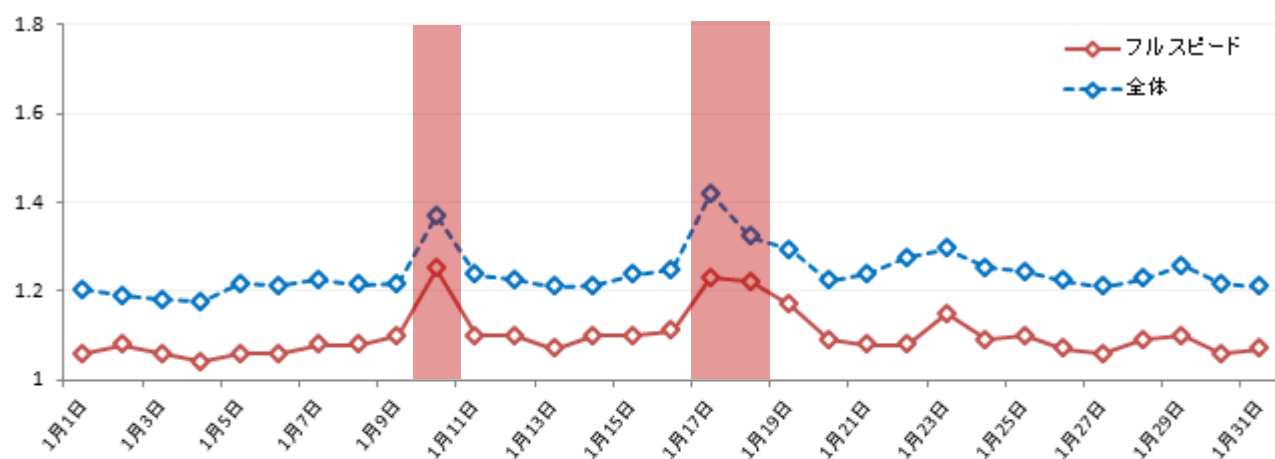
1月は、比較的大きな変動が2回観測されました。

結論から言いますと、2016年初頭に予告されていたペンギン・アップデートではなく、日々絶えず実行している日常的なコア ランキング アルゴリズムの更新でした。

コア ランキング アルゴリズムはすべての国と言語で本質的には同じで、今回も日本独自の変動ではなく世界的に変動が観測されています。

変動の詳細については次ページでご紹介いたします。

Googleの順位変動率の推移（2016/1/1～2016/1/31）



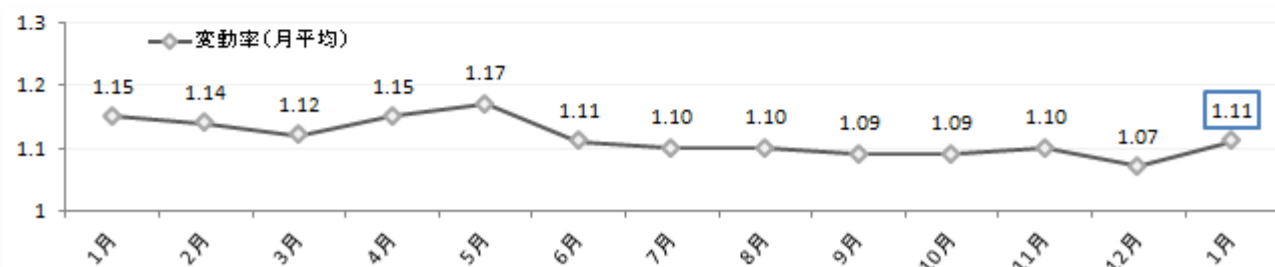
グラフの項目

全体

弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向

フルスピード

弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ：

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビックキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

順位変動状況サマリー

1月10日の変動について

GoogleのGary Illyes氏が、「連休の大規模変動はコア ランキング アルゴリズムの更新でペンギンアップデート更新ではない」とTwitterで言及しています。



Gary Illyes
@methode

フォロー

@jenstar yes, the changes you saw are part of a core algo update. @Missiz_Z is right almost always, you shan't need my confirmation

ペンギンアップデートの更新ではないのに、大きな変動が起こった理由をGoogleのMatt Cutts氏がオンラインのライブTV番組で語ってくれました。12月末のホリデーシーズン中はオンライン購買がさかんになるため、パブリッシャーやウェブマスター、SEOに携わる人たちに戸惑いを与えないために更新を控える傾向にあるようです。更新を伸ばした結果、たまった更新を一気に解放し大きな変動になったようです。年明けには大きな変動が起こる可能性が高いということです。

1月18日の変動について

18日の変動についてもGoogleのGary Illyes氏がTwitterで語ってくれました。

「私たちは日々アルゴリズムの更新をしており、今回もペンギンではない。」

変動の特徴は、上昇案件、下落案件ともに、半数以上が1～3位内の小さな順位変動になっており、順位変動の大きさはペンギン・アップデートの変動時とはあきらかに異なります。

順位が下落したサイトの共通点は以下です。

- ・重複コンテンツが同一ドメイン内に存在する
- ・対策キーワードや関連キーワードを含んだプレーンテキストがページ内に少ない
- ・titleタグ内に多くの情報が詰め込まれており内容を的確に伝えられていない
- ・低品質ページが下層に複数ある、あるいはインデックスされていないページが多くある

今回の変動は外部ではなく内部の更新によるものと推測します。

【順位が上がった割合】

1～3位上がった	50.7%
4～10位上がった	34.9%
11位以上上がった	14.4%

【順位が下がった割合】

1～3位下がった	57.4%
4～10位下がった	33.1%
11位以上下がった	9.5%

SEO Report

Growth Seed VOICE
Section 03

Growth Seed _ 最新記事紹介

当社のSEOコンサルタントやその道の専門家が発信する知識、現場で使える無料レポートの公開、毎日の順位変動状況など情報を出し惜しみすることなく、ユーザーの方に満足していただけるような専門情報をお届けしています。

サイト成長の種を贈るフルスピードSEOブログ
<http://growthseed.jp/>



2月のアップ予告

NO IMAGE

「2016年のSEO展望まとめ」

2015年にGoogleが力を込めた「モバイル」「アプリ」「セキュリティ」などの取り組みを振り返りながら、2016年にGoogleが力を込めるであろう方向性、そしてWEB担当者が取り組むべきWEBサイトの改善策を解説する記事を予定しています。

NO IMAGE

「正しいコンテンツマーケティングの活用法」

ここ数年、熱い視線が注がれ強い関心を得ている「コンテンツマーケティング」ですが、このアプローチが注目されている理由や、対策から得られる成果について、これまで蓄積した結果をもとに、そこから見える世界観を改めて考察する記事です。

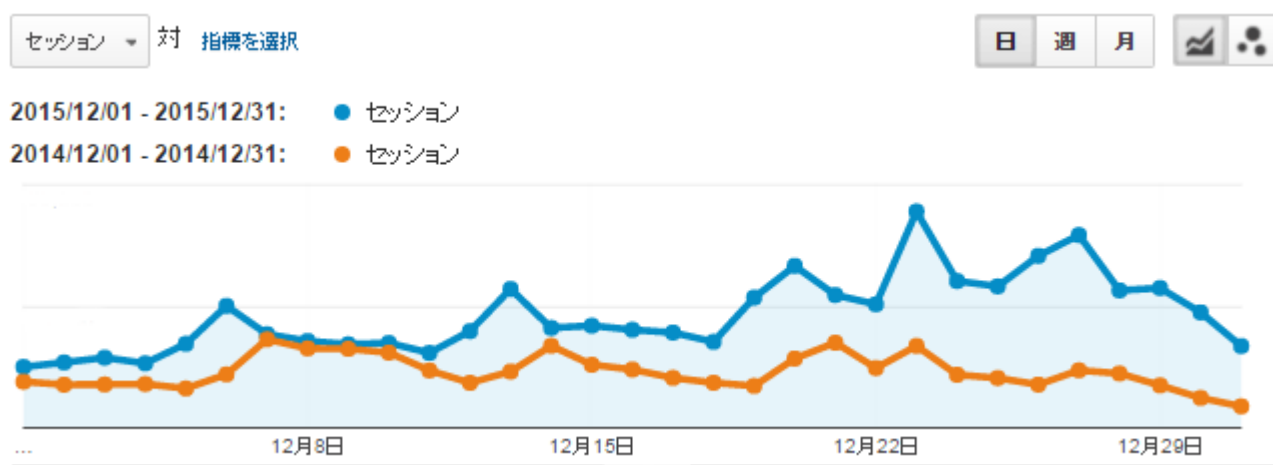
成功事例 _ Expert SEO フルカスタマイズプラン

内部のコンサルティングによる成功事例をご紹介します。

サイト概要	年賀状販売サイト	対策期間	2015年5月 ~ 2015年12月
対策目標	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 前年対比50%増の自然検索セッション数 ✓ 主力7キーワードの5位以内表示 		

自然検索セッション数の前年対比

結果：前年対比 **101%増を達成**



対策内容とトレンド比較

2014年に作成されたサイトをベースに2015年の5月からフルリニューアル支援をしました。年賀状の詳細ページを作りこみ、内部リンク構造や全ページの品質・コンテンツ量を見直す内部施策を行ったことで、前年対比50%増目標に対し、101%増の結果を得ることができました。

Googleトレンドの「人気度の動向」を見ても（下図参照）、セッションの推移と波長がっており、トレンドをつかむ施策が行えたことが大きな要因になっている事例です。



特集 _ 検索キーワードで見るバレンタイン

2月14日はバレンタイン！ 関連キーワードの検索も徐々に増加している中、バレンタインの検索トレンドをYahoo!がインフォグラフィックで紹介しています。



この結果からも、PCとスマートフォンではユーザー行動が異なります。ユーザーの行動パターンをしっかりと把握し、どのタイミングで、どのような場所、方法を通してメッセージを伝えていくのか、ユーザーを理解した上で、PC・スマートフォンそれぞれに対するマーケティング活動が欠かせない時代になっています。

参照元：「Yahoo!マーケティングソリューション ブログ」
<http://yahooparketing.tumblr.com/post/138057107365/20160126>

特集 _ サイバーセキュリティ月間

2月1日～3月18日は日本政府がサイバーセキュリティに関する普及啓発強化のために「サイバーセキュリティ月間」と定めています。



<http://www.nisc.go.jp/security-site/month/>

菅内閣官房長官メッセージ（※一部を抜粋）

昨年9月に閣議決定された「サイバーセキュリティ戦略」では、政府機関や地方公共団体、サイバー関連事業者、一般企業、そして国民の皆様一人一人に至るまで、多層的なサイバーセキュリティの確保が必要とされております。

そこで国としては、サイバーセキュリティに関する意識や知識の浸透を図るべく、2月1日から3月18日までの期間を「サイバーセキュリティ月間」として、産・官・学・民の連携のもと、集中的な普及啓発活動を推進してまいります。

Googleのアンケート調査結果

取り組みに参加しているGoogleが、セキュリティ専門家とそうでない人たちのセキュリティ対策ベスト5を公開しました。



コンテンツSEOサービスのリニューアル予告！



コンテンツSEO NEWリリース

2013年12月にリリースしました「コンテンツSEO」サービスを大幅刷新します。

既存サービスの品質や運用フローなどの改善に加え、

- ・ 特定業界に精通している専門ライター執筆による
専門型コンテンツ
- ・ ブランディングの訴求、接触拡大を促すための配
信量特化型コンテンツ

など、サービスラインナップを大幅に拡張する予定です。

多様化するユーザーニーズとサイトの目的を満たすために、コンテンツの目的や種類、あり方を再構築し、目的にそったオーディエンスを引き寄せ、獲得し、エンゲージメントをつくり出すためにコンテンツの新たな可能性をご提示します。

2016年2月末
リリース予定

月刊SEOレポート 2016年2月版

- Monthly SEO Report vol.70 -

発行 2016年2月3日

発行者 SEOコンサルティング事業部

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2016年1月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることをご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。

Full Speed

Ad Technology & Marketing Company



Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”